

第4章 平成21年中の火災の特徴

1 市内東部で放火火災増加

平成21年中の「放火火災」を地域別にみると、中央台が5件と最も多く発生し、10.2%を占め、次いで、玉野町が4件（8.2%）の順となっている。

地域別の放火火災による出火件数は、表4-1-1に示すとおりである。

表4-1-1 地域別放火火災の発生状況

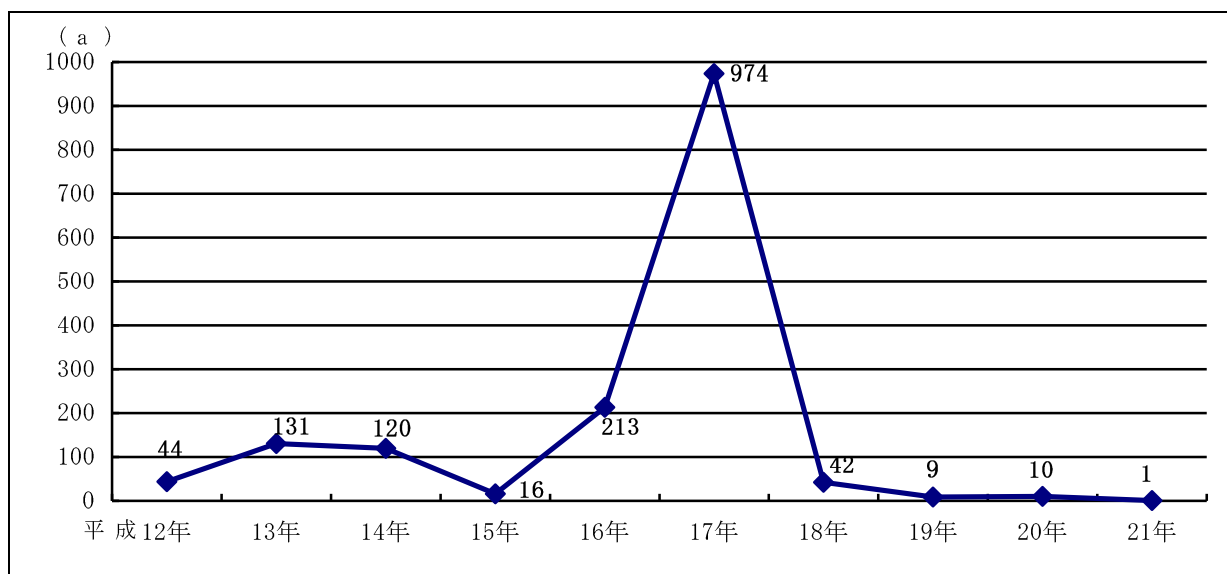
地 域	出火件数 (件)	構成比 (%)
中央台地内	5	10.2
玉野町地内	4	8.2
高蔵寺町北地内	3	6.1
西山町地内	3	6.1

2 林野焼損面積の減少

平成21年中の林野焼損面積は1aで、前年に比べ9aの減少となっている。これは、林野火災の減少とともに、大規模な焼損面積を計上した火災が減少したため、この10年間で最少の焼損面積となっている。

林野焼損面積は、図4-2-1に示すとおりである。

図4-2-1 林野焼損面積の推移



3 学校敷地内での火災が増加

平成21年中の出火件数125件のうち、学校敷地内での火災が4件発生し、全火災の3.2%を占め、前年に比べ1件の増加となっている。

表4-3-1 平成21年中の学校敷地内での火災発生状況

発生月	種別	出火箇所	出火原因
3月	建物	教室	こんろ
11月	その他	敷地内	放火
11月	その他	屋上	火遊び
12月	その他	敷地内	放火

4 特異な出火事例

(1) 事例1

本事例は、小学校の調理実習で、教諭が2口ガステーブルコンロの上に載せたホットプレートのスイッチを入れるように指示したところ、児童が誤って2口ガステーブルコンロの器具栓を入れてしまったために、ホットプレートの外枠に着火したものである。

写真4-4-1 「焼損したホットプレート」



写真4-4-2 「使用状況を復元した状況」



(2) 事例 2

本事例は、通電状態を継続しているリチウム電池内蔵 AC 充電器の上に衣類等が堆積したため、何らかの原因により過充電防止の保護回路が作動せず内蔵のリチウムイオン電池から出火したものである。

写真 4-4-3 「焼損したリチウムイオン電池」



写真 4-4-4 「焼損したリチウムイオン電池」

